



ほげんだより

令和6年 1月29日
郡山市立小山田小学校

感染症の流行状況とご協力をお願い

本日正午の時点で、本校では新型コロナウイルス感染症14名、インフルエンザB型6名（重複感染有り）、発熱・呼吸器症状による欠席23名、消化器症状による欠席5名となっております。新型コロナウイルス感染症については、学校全体にみられます。発熱がなくても、検査を受けて診断される人もいます。

体調が思わしくない場合には

- ① 無理をせず安静にし、体を休める。
- ② 医師の診察を受ける。
- ③ 登校する場合にはマスクを着用し感染拡大の可能性を下げる。

などのご配慮をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症では、発症後10日が経過するまでは不織布マスクを着用したりハイリスク者と接触は控えたりするなど、周りの方へうつさないような配慮をすることが望ましいです。マスクの着用は個人の判断に委ねられるようになりましたが、学校には、喘息、心臓病、腎臓病などの基礎疾患をもつハイリスクの児童も通っておりますので、ご理解、ご協力を尾根がします。

熱の高さと病気の重症度はイコール？

「受診のタイミングが早くてまだ検査ができなかった」という話や、「検査を複数回行った」という話もよく耳にします。また、熱が高いと家族としては心配になりますが、「熱が高い ≠ 重症」なのだそうです。『[佐久医師会 おしえてドクター](#)』に、大変わかりやすい資料がありました。発熱以外にも、家庭での看病などに役立つ情報がまとめられていますのでご紹介します。無料のアプリもあるそうです。

